

第3回栃木県産業再生委員会地域金融再生部会議事録

日 時 平成17年1月21日(金) 14:30～16:40

場 所 栃木県公館大会議室

出席者

< 委員 >

須賀部会長

新江委員、宇野委員、久保委員、小高委員、佐藤委員、中川委員、中村委員、
畑山委員、北條委員、峰岸委員

< 県 >

須藤副知事、麻生出納長、山中商工労働観光部長、小林副出納長兼出納局長、
須藤商工労働観光部次長兼産業政策課長、中山商工労働観光部次長、
繪面出納局会計課長

会議内容

1 開 会

【司会】

去る12月28日に栃木県産業再生委員会条例の一部改正に伴い、新たに、宇野委員、小高委員、畑山委員の3名を委員として選任させていただいた。3名については、藤本委員長から地域金融再生部会に所属するよう指名されたところである。

本来なら知事から辞令をお渡しするところであるが、知事が所用で出席していないため、お手元に辞令を用意させていただいたのでご了承願いたい。

(宇野委員、小高委員、畑山委員、自己紹介)

【司会】

新しい委員名簿については、お手元に用意させていただいているのでご確認いただきたい。

また、先日、当部会の小川委員、菊池委員、谷口委員から、今後、足利銀行の望ましい受け皿のあり方を議論するなかで、よりナイーブな問題がでてくると考えられるので、受け皿の議論に限っては、部会委員を辞退させていただきたい旨の連絡が事務局にあった。

このことについては、藤本委員長と須賀部会長の了解を得たので、部会委員各位においてもご了解をいただきたい。

2 議 事

(1) 第 2 回栃木県産業再生委員会地域金融再生部会の会議結果概要について

【須賀部会長】

去る 1 2 月 2 1 日に開催した、第 2 回地域金融再生部会の会議結果の概要については、1 2 月 2 7 日に開催した第 3 回本委員会において、委員各位の確認をいただいたところである。

- ・資料No4が会議結果の概要で、主な審議事項が記載してある。
- ・資料No5が当面の審議予定スケジュールが記載してある。
- ・資料No6が審議予定項目である 6 つの項目（ 基本的な認識、 新銀行のあるべき姿、 受け皿のパターンと評価・課題、 受け皿移行のスケジュールの考え方、 受け皿移行への他の政策課題、 国への提案事項 ）にしたがって審議させていただき、当部会で中間報告案をまとめたうえで、本委員会にお諮りし、再度、当部会で調整を行うことになっている。

なお、今回から新たに当部会に加わった宇野委員、小高委員、畑山委員の 3 名については、事務局から会議の結果の概要の説明を済ませてあるので、おさらいはこの程度にいたしたい。

(2) 足利銀行の望ましい受け皿のあり方に関する県民意見の募集について

【小林副出納長兼出納局長】

足利銀行の望ましい受け皿のあり方については、当部会で答申をいただくというのが知事の考え方であるが、この問題は県民生活に大きな影響を及ぼすものであり、また、県民の関心も非常に高いため、知事としては、部会の審議に並行して広く県民の意見をうかがって部会の議論の参考としていただきたいと考えている。

募集している意見は、 足利銀行の望ましい受け皿、 望ましい受け皿の実現に向けた県の関与（受け皿の出資の可否を含む）という 2 項目について、県民の意見の募集を行っている。

募集期間は 1 月 5 日から 2 月 4 日までの 1 ヶ月間で、募集の媒体は郵送、ファックスのほか E メールとしている。

ちなみに、昨日の 1 月 2 0 日までの応募状況は、募集開始から 2 週間が経過しているが、3 0 件の応募がきている。

【須賀部会長】

当部会としても、意見募集の趣旨を理解し、応募した県民の声も十二分に踏まえた議論をしてまいりたい。

それでは、議事（ 3 ）の意見交換に入りたいが、前回の部会ではここから非公開としたが、本日は公開にするか非公開にするか委員の意見をうかがいたい。

【北條委員】

前回同様、かなり活発な意見がだされると思われるので、非公開としたほうがよろしいのではないかと。

【須賀部会長】

非公開という意見をいただいたが、いかがか。

(各委員から賛同あり)

【須賀部会長】

それでは、本日の意見交換は非公開とさせていただきます。

なお、本日の意見交換の内容は会議終了後に報道関係者の取材に、私自身で応じたい所存であるので、一任させていただきたい。

(各委員から異議なしの意見)

以下、(3)意見交換以降、本日の会議は非公開となる。

第3回栃木県産業再生委員会地域金融再生部会の会議結果(概要)

(3)意見交換(非公開)

前回の審議結果を踏まえ、「受け皿のパターンと評価・課題」、「受け皿移行のスケジュールの考え方」を中心に、各委員が審議項目全般について意見を述べるとともに、望ましい受け皿のあり方について、検討。

主な審議事項

受け皿のパターンと評価・課題

受け皿のパターンをいくつか想定した上で、以下のポイント等を中心に課題を整理。

- ・「新銀行のあるべき姿(地域中核金融機関)」を実現できる可能性、そのビジネスモデルの持続性
- ・着実に産業再生・地域再生を遂行すること、他の金融機関との適切な役割分担を行うこと
- ・公的負担の軽減、2次破綻のリスク回避、営業譲渡方式以外の場合の再上場の可能性

受け皿移行のスケジュールの考え方

以下のポイント等を中心に考え方を整理した。

- ・資産の健全化、収益力の回復等の時期
- ・県内経済の安定化
- ・内外の地域金融機関を取り巻く金融業界の動向